

「この10年にみる年間賃金の動向と賃金評価」

1. 仮説と使用データ

(1) 3つの仮説

- 賃金カーブが崩れてきている
- そのため、賃金への満足度は減少する
- 賃金満足度の水準、および推移は年齢によって異なる

(2) 使用データについて

連合「生活アンケート」

民間連合時代(1988年)から2年毎に実施され、1990年以降は官公部門も参加。

1992年 配布33,450枚、回収22,453枚、回収率67.1%

2002年 配布43,860枚、回収23,260枚、回収率53.0%

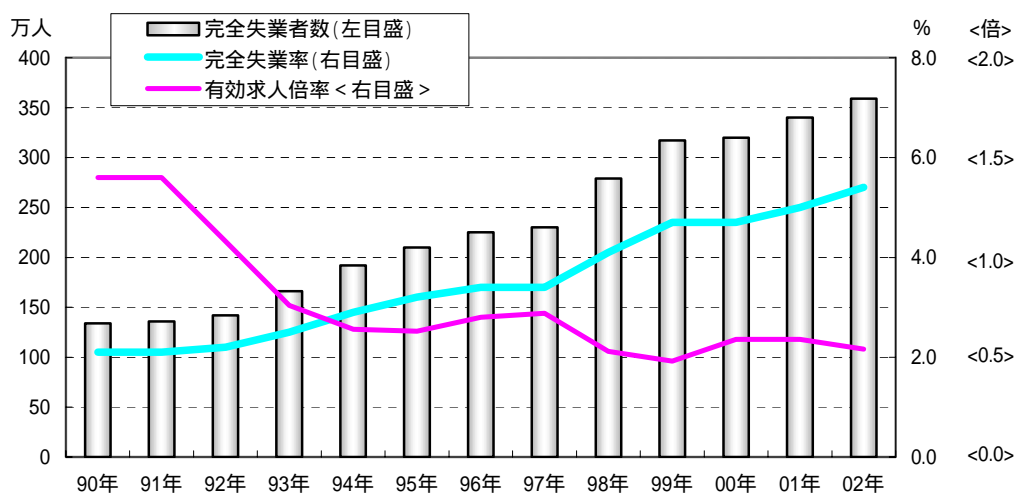
ここで使用するデータは「民間男性」

2. この10年間の変化

(1) 雇用関係指標からみるこの10年の変化

失業者数・失業率の増加と有効求人倍率の減少

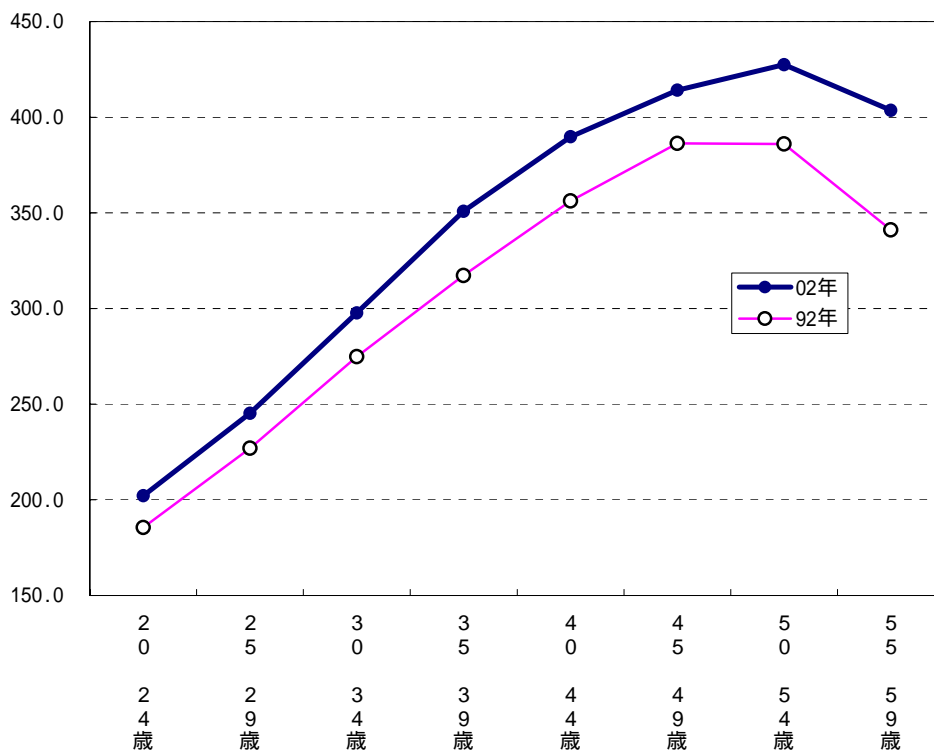
図1 雇用関係指標でみるこの10年



(2) 賃金でみるこの 10 年の変化

各年齢層とも賃金は上昇、賃金カーブは維持されている

図 2 男性年齢階級別賃金（産業計、企業規模計、学歴計）



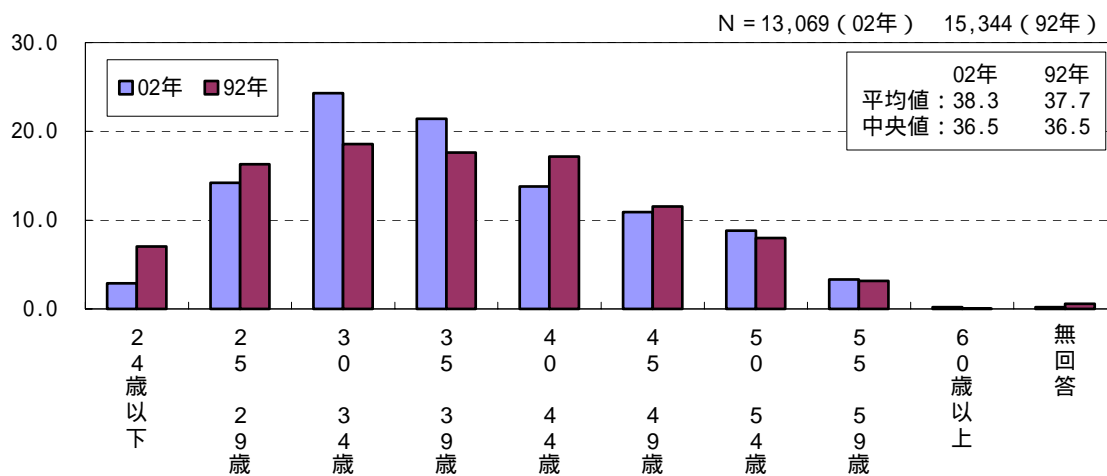
出所) . 厚生労働省統計情報部編『平成13年賃金構造基本統計調査』より作成。

3 . 使用データの属性

(1) 年齢構成

10 年前と比べ 30 代が多く、20 代が少ない（新卒採用の抑制？）

図 3 年齢構成（民間男性）



(2) 学歴構成

大卒が増え、中卒が減少（高学歴化）

図 4 学歴構成（民間男性）

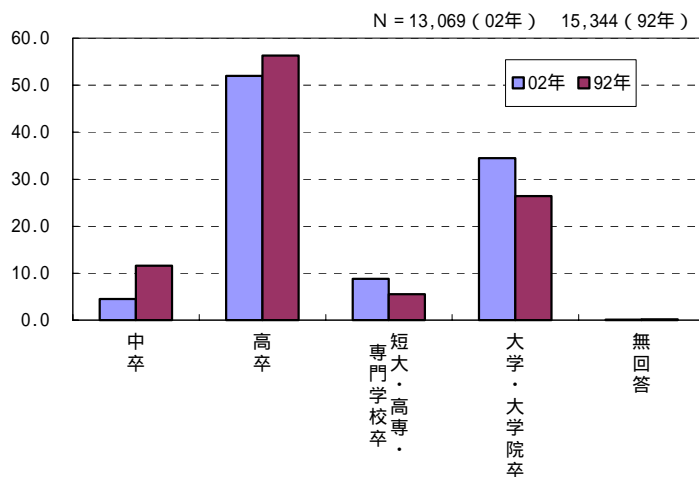


表 1 年齢別の学歴構成（民間男性）

	中卒		高卒		短大・高専・専門学校卒		大学・大学院卒		無回答		件数	
	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年
民間男性計	4.5	11.6	52.0	56.3	8.8	5.5	34.5	26.4	0.1	0.2	13,069	15,344
年齢別												
24歳以下	1.0	0.4	57.9	66.5	17.8	10.6	23.3	22.5	...	0.1	382	1,080
25 - 29歳	0.3	0.9	42.5	42.0	11.4	6.5	45.9	50.5	...	0.1	1,858	2,501
30 - 34歳	0.6	1.6	35.3	43.7	11.0	6.2	53.1	48.3	...	0.1	3,174	2,849
35 - 39歳	1.3	5.4	48.6	61.5	8.4	6.8	41.5	26.1	0.1	0.1	2,796	2,705
40 - 44歳	2.3	13.9	64.6	69.5	7.9	4.5	25.0	11.9	0.2	0.2	1,803	2,632
45 - 49歳	7.9	27.3	73.5	65.4	6.0	2.8	12.4	4.1	0.1	0.3	1,426	1,770
50 - 54歳	17.7	36.4	71.1	58.0	3.9	2.0	7.1	3.2	0.3	0.5	1,148	1,223
55 - 59歳	32.0	48.8	59.9	44.9	3.2	2.1	4.6	4.1	0.2	0.2	434	486

(3) 職種構成

生産職が減少、営業・販売・サービス職が増加（現業部門の海外移転など？）

図 5 職種構成（民間男性）

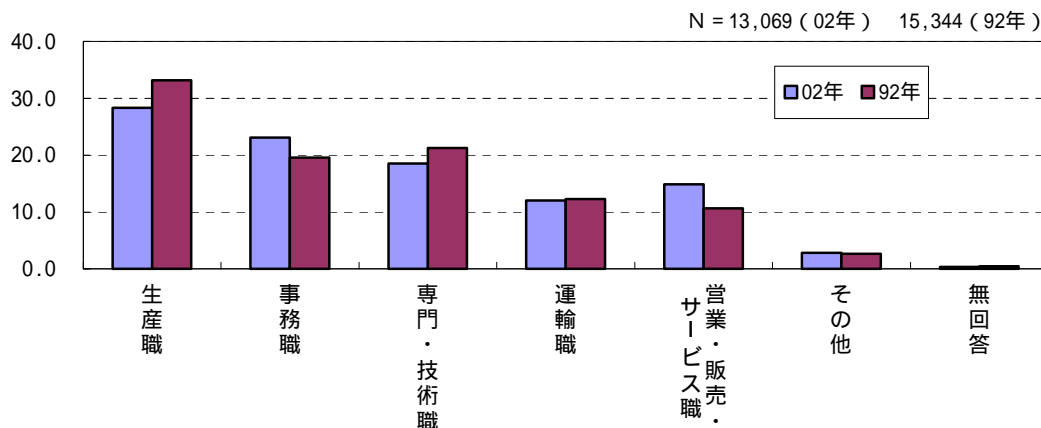


表 2 年齢別の職種構成（民間男性）

	生産職		事務職		専門・技術職		運輸職		営業・販売・サービス職		その他		無回答		件数		
	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	
民間男性計	28.3	33.2	23.1	19.5	18.5	21.3	12.0	12.3	14.9	10.6	2.8	2.7	0.3	0.4	13,069	15,344	
年齢別	24歳以下	40.1	35.5	12.3	22.5	18.1	23.1	13.4	6.9	14.1	9.3	1.3	1.8	0.8	0.9	382	1,080
	25 - 29歳	25.0	21.7	25.8	24.2	20.2	30.7	8.7	5.5	18.2	15.8	1.7	1.7	0.4	0.4	1,858	2,501
	30 - 34歳	19.9	21.3	28.0	23.5	25.3	27.5	5.6	8.9	19.4	16.1	1.6	2.4	0.2	0.3	3,174	2,849
	35 - 39歳	26.1	34.5	24.6	19.7	21.9	22.9	8.7	9.0	16.0	10.9	2.6	2.7	0.2	0.3	2,796	2,705
	40 - 44歳	29.1	41.8	22.9	16.2	15.1	16.8	15.1	14.2	13.8	7.9	3.8	2.7	0.2	0.3	1,803	2,632
	45 - 49歳	40.5	40.8	18.2	14.9	11.8	12.0	16.5	24.7	9.0	4.4	3.4	2.8	0.4	0.4	1,426	1,770
	50 - 54歳	39.2	46.0	15.9	13.1	8.1	10.1	23.5	21.5	8.4	4.1	4.6	4.6	0.3	0.7	1,148	1,223
	55 - 59歳	38.2	43.2	13.8	16.0	6.0	11.1	32.9	16.0	4.8	6.6	3.9	5.6	0.2	1.4	434	486

(4) 世帯構成と世帯の収入源

< 世帯構成 >

世帯構成は全体で見ると 10 年前とほぼ同様だが、晩婚化が進んでいる

図 6 世帯構成（民間男性）

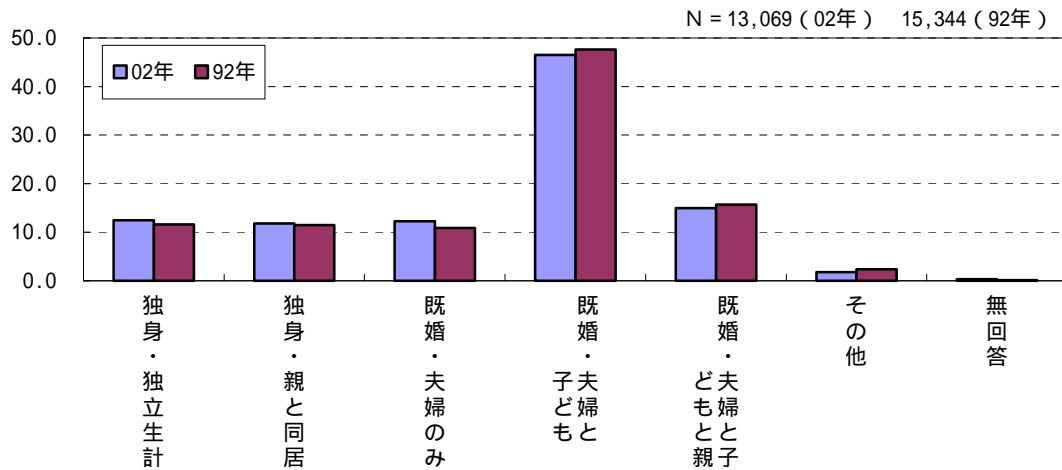


表 3 年齢別でみる世帯構成（民間男性）

	独身・独立生計		独身・親と同居		既婚・夫婦のみ		既婚・子どもと		既婚・子どもと親		その他		無回答		件数		
	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年	
民間男性計	12.5	11.6	11.8	11.5	12.3	10.9	46.5	47.6	15.0	15.7	1.8	2.4	0.3	0.1	13,069	15,344	
年齢別	24歳以下	36.1	38.2	52.6	54.1	3.9	3.4	5.2	2.6	1.3	0.5	0.8	1.0	0.2	...	382	1,080
	25 - 29歳	27.7	30.5	27.9	24.7	18.9	19.9	21.1	19.8	3.3	3.2	1.1	1.7	0.2	...	1,858	2,501
	30 - 34歳	16.2	11.7	13.2	11.4	17.2	15.0	44.2	46.9	7.8	12.7	1.4	2.0	0.1	0.0	3,174	2,849
	35 - 39歳	8.6	4.9	8.4	4.0	9.9	6.3	56.4	61.0	15.4	21.3	1.2	2.4	0.2	0.1	2,796	2,705
	40 - 44歳	5.6	2.9	5.2	3.0	5.4	4.6	57.7	61.5	24.3	25.6	1.8	2.0	0.4	...	1,803	2,632
	45 - 49歳	4.7	2.3	2.9	2.3	4.8	5.6	58.8	62.4	26.8	24.5	2.0	2.6	0.4	...	1,426	1,770
	50 - 54歳	4.4	0.8	2.5	0.7	11.9	13.6	51.7	62.9	26.0	17.3	3.3	4.0	0.8	0.1	1,148	1,223
	55 - 59歳	2.1	1.2	1.6	0.2	24.2	27.2	46.5	52.3	18.9	11.7	6.7	7.0	0.4	...	434	486

< 世帯の収入構成 >

既婚者について世帯の収入源をみても、10年前とそれほど大きな違いはみられない

図7 世帯の収入源（民間男性既婚者）

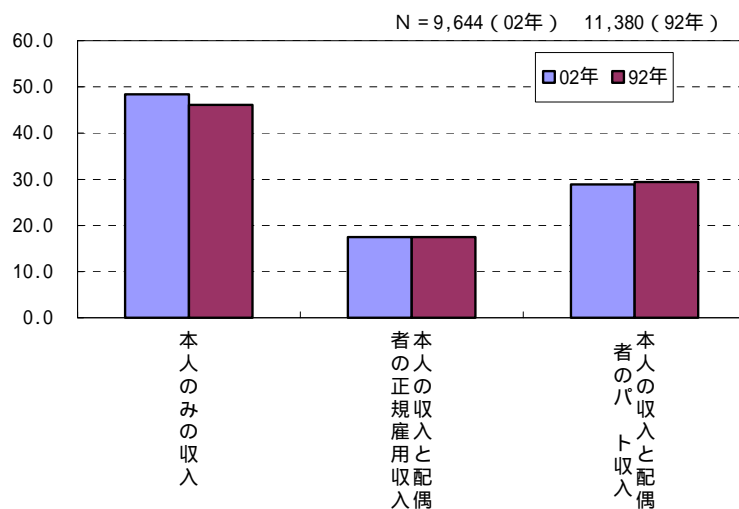


表4 年齢別でみる世帯の収入源（民間男性既婚者）

	本人のみの収入		本人の収入と配偶者の正規雇用収入		本人の収入と配偶者のパート収入		件数	
	02年	92年	02年	92年	02年	92年	02年	92年
民間男性計	48.4	46.1	17.5	17.5	28.9	29.4	9,644	11,380
年齢別								
24歳以下	60.0	47.1	17.5	28.6	17.5	18.6	40	70
25 - 29歳	52.8	58.7	28.3	24.8	13.8	11.7	805	1,073
30 - 34歳	62.0	62.8	17.9	14.9	15.2	14.8	2,196	2,127
35 - 39歳	55.3	52.9	14.3	13.7	24.6	26.7	2,284	2,396
40 - 44歳	41.6	39.6	14.0	17.0	37.1	37.5	1,576	2,414
45 - 49歳	31.8	29.3	18.2	19.7	46.5	44.2	1,289	1,637
50 - 54歳	32.8	29.7	21.2	20.0	42.1	40.4	1,030	1,146
55 - 59歳	44.2	36.8	14.9	18.7	36.2	32.1	389	443

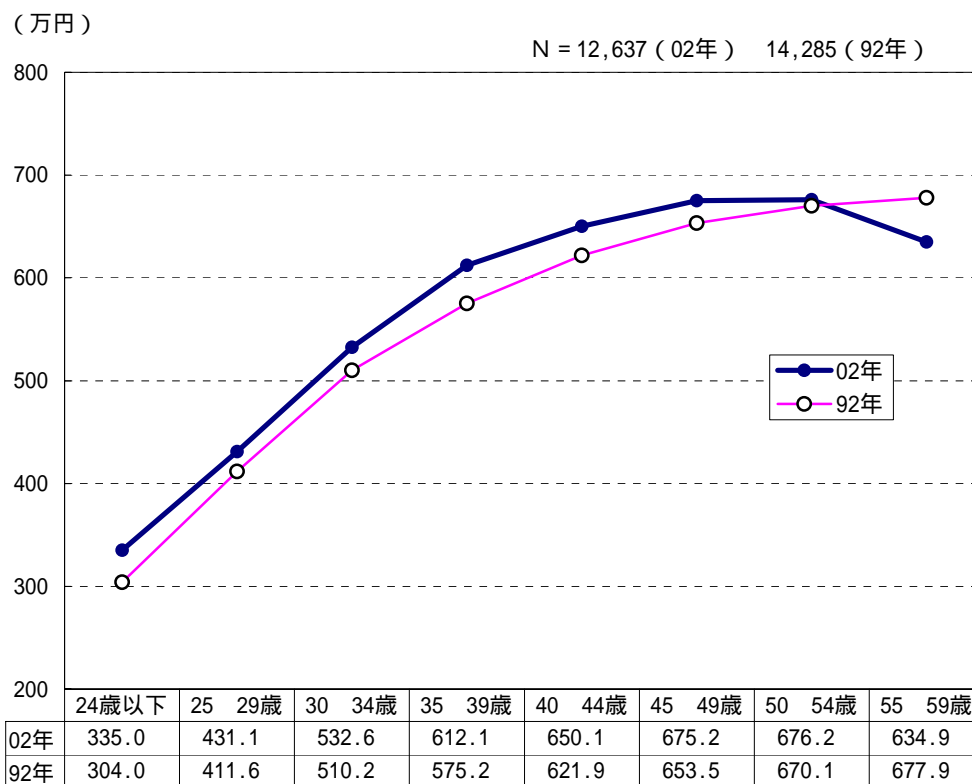
4. 賃金カーブ・この10年

(1) この10年間の賃金カーブの変化

賃金カーブが大きく崩れるような事態にはなっていない

(物価上昇を加味すると、ほぼ変化なし)

図8 賃金カーブ(民間男性)



(2) センサスデータとの比較

前出のセンサスのデータと比べても概ね傾向に違いはない

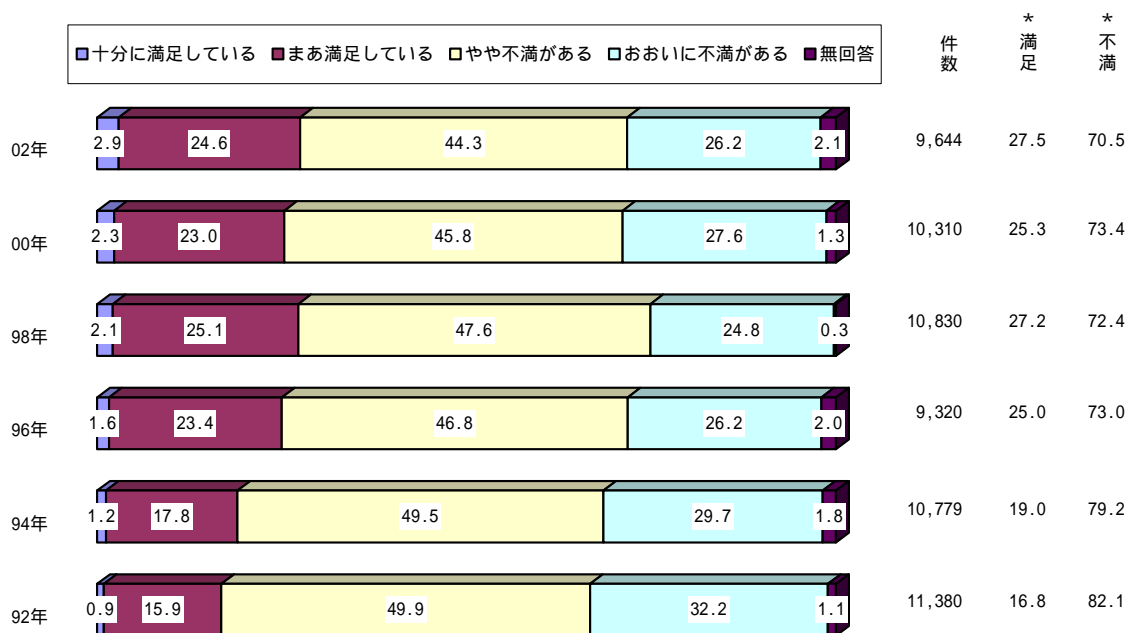
どちらも賃金カーブはそれなりに維持されている

5. 賃金満足度

(1) 賃金満足度の年次変化

賃金満足度は92年から96年にかけて上昇
以降2000年初頭まで3割弱で推移

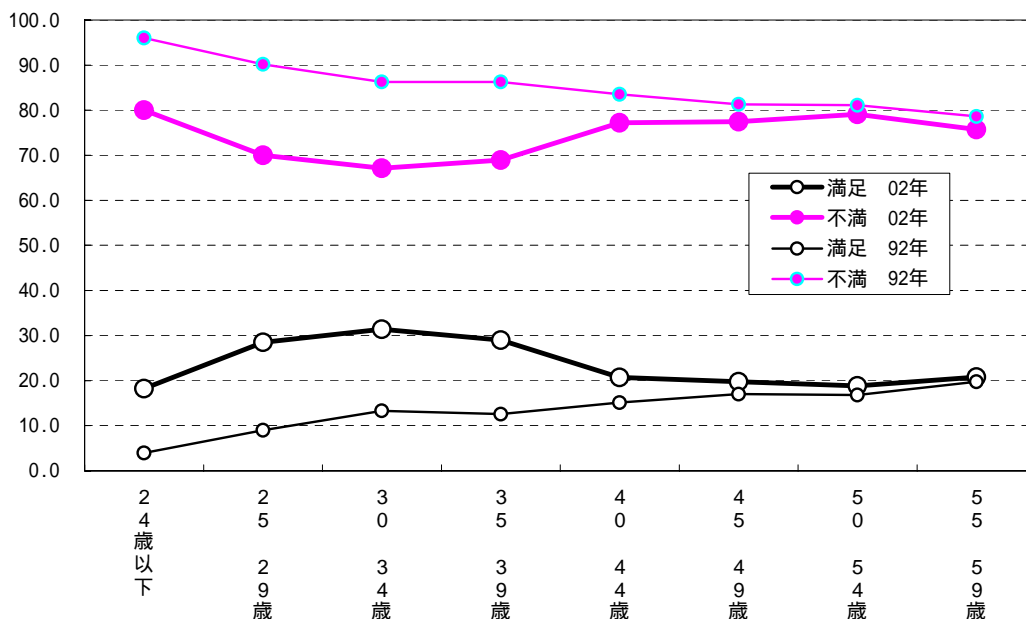
図9 賃金満足度の年次変化（民間男性既婚者）



(2) 年齢別の賃金満足度

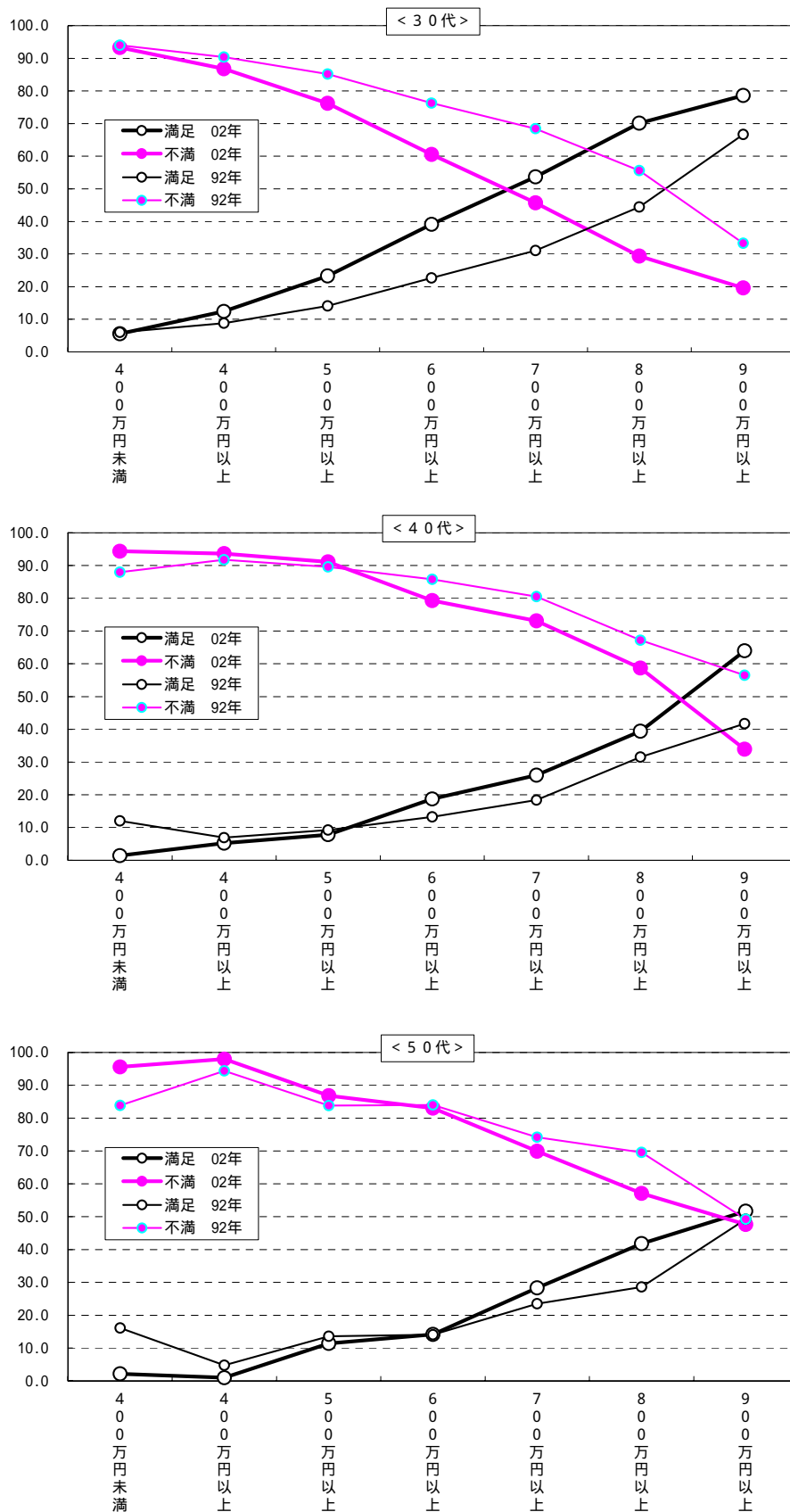
年齢別にみても満足度が減少している層はない
20～30代で増加、40～50代では横ばい

図10 年齢別にみた賃金満足度（民間男性既婚者）



(3) 年代別・収入別にみた賃金満足度
満足 / 不満の交点が 30 代で大きく下方に移動

図11 年代別・年収別にみた賃金満足度（民間男性既婚者）



(4) 年収満足度の背景

年収額だけで決まるわけではない、と言えそう

表5 年収満足度の背景(02年)

(重回帰分析)

	30代		50代
	生産職	事務・専門職	生産職
年間収入3分位			
一昨年と比べた年間賃金総額の増減			
単収入世帯(昨年・タミー)			
この1年間の世帯の消費支出の増減			
家計収支			
人事評価の納得性			
雇用の心配なし			
N=	290	896	166
Adj R ²	0.357	0.284	0.243

注: データは民間・男性・既婚世帯・勤続2年以上。 は 0.01で、 は 0.05で有意。

6. 結論

(1) 仮説の検証

賃金カーブはそれなりに維持されている

実質賃金は変化なし

賃金が増えない中で、満足度は上昇

賃金満足度は中高年層では横ばい、20~30代では増加

30代では10年前と同額でも満足度アップ

(2) 調査結果から考えられること

10年前と同額でも満足度が高い背景(特に30代)

賃金に加え、仕事のやりがいや自己実現を重視する傾向

組合を通じての全員一律の賃上げというより、個人の仕事の能力・

成果による賃金向上

生活における消費のあり方の変化

今あるお金でやりくりする

30代以下はもともとベアなどが少なかった世代で、以前の賃金闘争を

知っている世代と比べると、賃金上がることへの期待が薄い

ベースアップを知らない世代への移行